

先週の回答



「豊川稲荷と犬のクソって言うだろう」
 「何ですか? それ」
 「むかしは、お稲荷さんの祠(ほこら)と犬のクソはどこにでもあったという意味だよ」
 「犬を散歩させて後始末しなかったんですか」
 「むかしは、いたる所に野良犬がいたんだよ。だからいたる所に犬のクソがあったんだ」
 「で、それが」
 「だから、佐藤とか鈴木は、豊川稲荷と犬のクソのように、どこにでもある名字だったって言うてるんだよ」
 「それと、張三李四(ちようさんりし)とどうつながるの?」

「張三李四というのは、中国の張さんの家の三男と李さんの家の四男という意味だ」
 「だから?」
 「どこにでもいる極めて平凡な人という意味だ。『張三李四といわれる無名の大衆が、社会の縁の下で支えている』とか言うだろう」
 「張も李も名字なんだから無名ではないんじゃないですか」
 「この場合は有名でないという意味の無名だ」
 「すると日本に当てはめると?」
 「だから、佐三鈴四だ。佐藤さんちの三男と鈴木さんちの四男となるな。いや待てよ、今は少子化で一人っ子が多いから、

佐長鈴長だな」
 「何ですか?」
 「佐藤さんちの長男と鈴木さんちの長女だよ」
 「しかし、ありふれた名字だから、その人も、ありふれた平凡な人物とは限らないでしょう。佐藤、鈴木はともに総理大臣になった人がいるじゃないですか」
 「もちろん、張さんも李さんも、佐藤さんも鈴木さんも、平凡な名字ではあるが人間も平凡とは言っとらんよ。数が多いと言っとるんだよ」
 「数が多いと平凡なんですか」
 「そりゃそーだろう。どこにでもいるんだから平凡だということになるだろう」
 「うちは?」
 「佐藤だよ」
 「むーん、たしかに平凡な人物だな、パパは」
 「.....」

今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。